

授業概要

経営学の歴史を知り、基本的な考え方を習得することを目標にしたい。特に、職業の選択が人生に大きな意味を持っていることをふまえ、働く人間と管理の抱える問題、自己実現と組織との関係を経営学がどう考えてきたかを、授業を通して考えていきたい。経営学は、経済学とは異なり、理論的な論争よりも発想が重要となる。この点を踏まえて講義したい。

授業計画

第1回	資本主義の発達と経営学
第2回	テイラーの科学的管理法
第3回	メイヨーの人間関係論
第4回	人間関係論の発展
第5回	マックス・ウェーバーの支配の正統性
第6回	パリー・ミーンズと所有と経営
第7回	復習
第8回	バーナードと企業存在意義
第9回	サイモンと経営人
第10回	ドラッカーとマネジメント
第11回	もしドラ
第12回	ガブレイスと組織と不確実性
第13回	日本的経営
第14回	経営学の諸問題（1）
第15回	経営学の諸問題（2）

到達目標

経営学の基本的な問題関心と学説を理解すること。

履修上の注意及び予習・復習

- ① ノートを中心として学習すること。
- ② 経済経営関係のニュースに関心を深めること。

評価方法

- ① 定期試験を中心に評価する。
- ② 中間試験とレポートを課す
- ③ ①と②の配分は、おおよそ①60% ②40%とする。（ただし、変更する場合もある）

テキスト

ノートと授業中の資料を中心とする。必要な本は適宜授業中に指示する。